

## V. 特記事項

### 1. 外国人特別研究員による高校への最新技術紹介

2022年8月より1年間の計画で、日本学術振興会（JSPS）の外国人研究者招聘事業による特別研究員として張光子先生（中国・北方工業大学在籍）が本学教員とともに研究活動を行っていた。日本学術振興会のサイエンス・ダイアログ（世界各国より日本の大学・研究機関等へ研究のために滞在している優秀な若手外国人研究者を講師として高等学校等に派遣し、自身の研究や出身国に関する内容をテーマに英語によって講義するプログラム）の事業として、2023年2月8日、奈良市にある私立 帝塚山高等学校に招かれ、VR（仮想現実）など張先生が研究中の最新技術を題材にした英語による授業を担当した。張先生は本学でVRの最先端技術について研究しており、歴史のある京都をVRビデオで収録し、様々な文化や歴史的遺産をインタラクティブに紹介するコンテンツを制作した。その過程のなかでVRの新しい表現手段を発見しながら、国際的な相互理解の一助にもつなげる活動を行っている。

### 2. 教養教育の実践

最近ではIT技術者にもアートや音楽などを通して、感性を磨くことが重要であると言われている。本学では2023年度秋学期より、ピアニストである多川響子教授による「音楽概論」、真野宏子教授による「西洋美術史概論」、2024年春学期より同教授の「近現代美術史概論」、さらにバイオリニストである劉薇教授による「アジアの近現代音楽」など、教養教育としての音楽・美術の科目を充実させている。設計時より音響効果を重要視した本学、京都駅前サテライト大ホールや百万遍校本部棟新校舎多目的ホールでの授業は各年代の代表的な音楽家紹介とその楽曲の演奏、そして歴史的な背景などを鑑み、曲にかけた思いや感情を考察する内容である。また、国際的に活躍している音楽家とのミニコンサートなども実施し、これら授業を通し、学生には技術面だけではなく、自分自身の内面を磨き、豊かな人間性が醸成されることを期待している。



「帝塚山高等学校での授業風景」



「鷺見恵理子&多川響子デュオコンサート」